

9月7日（月） 2026年度秋季リーグ戦第1節3回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
阪公大	0	0	0	1	0	3	2	0	0	2	4	12
奈学大	0	0	0	0	0	4	0	1	1	2	0	8

大阪公立大学(3塁側)

対

奈良学園大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	4	府立生野	5	3	1	
2	遊	林	3	大阪明星	6	2	0	
3	左	上岡	3	泉陽	4	1	0	
4	指	前田	4	須磨学園	3	0	0	
5	一	田中創	4	金沢桜丘	4	0	0	
	打	中澤	2	丸亀	1	0	0	
	一	菱田	3	関西大倉	0	0	0	
6	右	徳山	2	履正社	3	2	0	
	走右	野田	3	須磨学園	1	0	0	
7	三	高田	2	松阪	4	2	0	
8	捕	小田	3	一条	4	1	1	
9	二	荻沢	3	富山県立高岡	5	4	1	
	三	越智	2	乙訓	0	0	0	
投		宮田	3	倉敷青陵	-	-	-	
		山本	4	清教学園	-	-	-	
		利川	3	西大和学園	-	-	-	
合計	三振	四死球(故)	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	7	7(1)	1	1	1	40	15	3

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	二	河原	4	奈良大学附属	4	1	1	
2	右	米井	4	大阪商業大学堺	3	0	0	
3	中一捕	河田	1	東海大学付属相模	3	2	0	
	捕	植木	3	大阪学院大学	0	0	0	
	打	西田	4	広陵	0	0	0	
	走	三原	2	東海大学付属熊本星翔	0	0	0	
	一	奥野	3	鳥取城北	0	0	0	
4	左	森	4	市立和歌山	2	0	2	
5	一	北峯	4	奈良大学附属	1	0	0	
	打中	小南	3	北陸	3	1	1	
6	指	門野	3	中京	2	0	0	
	打指	堂田	2	汎愛	3	2	0	
	走指	中條	2	上宮	0	0	0	
7	三	川鯉	2	上宮	4	1	0	
8	捕	島田	1	鹿児島実業	2	0	0	
	一捕	石井	4	八戸学院光星	2	2	1	
9	遊	國武	1	東洋大学附属姫路	4	2	1	
投		矢川	4	日本航空石川	－	－	－	
		溝部	3	神戸国際大学附属	－	－	－	
		岩井	3	福井工業大学福井	－	－	－	
		片岡	3	和歌山南陵	－	－	－	
		中西	3	京都国際	－	－	－	
		南	2	延岡学園	－	－	－	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	9	9	3	2	4	33	11	6

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
宮田	5	101	26	21	7	6	5	0	2
山本	2/3	24	5	3	1	1	2	3	2
利川	3 1/3	56	22	9	3	2	2	3	2
合計	9	181	53	33	11	9	9	6	6

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球 （故）	失 点	自 責 点
矢川	5	94	25	20	7	3	4	3	3
溝部	1/3	11	3	2	1	0	1(1)	1	1
岩井	1 1/3	32	8	8	4	1	0	2	2
片岡	2 1/3	45	12	10	3	3	2	0	0
中西	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	182	48	40	15	7	7(1)	6	6

【戦評】

第1節でなんとしても勝ち点を挙げ、今季リーグ戦の好発進を切るため、絶対に負けられない一戦。前戦の集中力をそのままに、総力戦で挑みました。

初回、1番根来（経4・府立生野）が安打で出塁するも、ダブルプレーで二死を奪われます。しかし二死から上岡（工3・泉陽）が安打を放ち、執念を見せますが、無得点に終わります。

本日の先発は宮田（工3・倉敷青陵）。初回には、いきなり複数の四球を与え、一死満塁のピンチを背負います。しかし、ここで踏ん張ろうと気迫のこもった投球で、後続を断ちます。

2回には高田（現2・松阪）が安打と盗塁を決め、3回には荻沢（経3・富山県立高岡）と林（工3・大阪明星）の安打が飛び出すなどチャンスを作りますが、惜しくも得点とはなりません。

2・3回と、宮田は相手打線に安打を許し、走者を背負いながらも、ライナーゲッツーなど味方の好守でピンチを切り抜け、先制点を譲りません。

4回表、まずは徳山（現2・履正社）が死球で出塁すると、高田の犠打と相手投手の暴投により三塁へ。ここで根来が相手の失策を誘い、待望の先制点を奪います。

6回には、先頭の徳山が左中間を越える二塁打を放つと、高田も安打で続き、無死一三塁とチャンスを拡大します。相手投手のボークで1点を追加すると、荻沢の適時打と相手投手の暴投でさらに2点を奪い、リードを広げます。

しかしその裏、宮田は先頭から三連打を浴び、マウンドを降ります。ここでマウンドに上がった山本（文4・清教学園）は、落ち着いて2つのアウトを奪うも、四死球での押し出しや適時打で3点を返されます。そして、利川（経3・西大和学園）へマウンドを託します。利川も粘り強く腕を振りますが、押し出し四球で同点に追いつかれ、試合は振り出しに戻ります。

7回表、またしても徳山が二塁打で出塁の口火を切ると、小田（医3・一条）・荻沢・根来の三連打で2点を勝ち越します。

その裏、利川は安打を許すも、後を併殺打に打ち取り、相手に流れを譲りません。8回には、死球を与えると、続く打者による二塁打・犠牲フライで1点差に迫られます。

さらなる追加点を狙いたい阪公大打線ですが、荻沢・根来の二連打から後が続かず、1点差で9回の守備を迎えます。

なんとしても逃げ切りたい9回裏でしたが、先頭打者に二塁打を放たれ、犠打・犠牲フライでまたも同点に追いつかれ、試合はタイブレークへ突入します。

「まずは2点を」と臨んだ10回表、前田（現4・須磨学園）の犠打は相手の失策を誘い、一死満塁の絶好機を作ると、野田（現3・須磨学園）は見事センターへ起死回生の適時打を放ち、2得点。

その裏、利川も氣力を振り絞りますが、2安打で2点を返され、なおも決着はつきません。

迎えた11回表、根来が執念の四球を選んで満塁とすると、林の犠牲フライで1点。そして上岡が放ったピッチャー前への安打は失策を誘い、さらに1点。続く前田の内野安打、相手の失策が重なり、この回一挙4得点を奪います。

味方の援護を受け、引き続き利川がマウンドに上がり、先頭打者を空振り三振に打ち取ると、相手打線に進塁すら許すことなく三者凡退に抑え、試合終了。12－8で勝利し、勝ち点を1と致しました。